

4・10

**被害・復旧状況** (4・11N)

死者 1万3013人

行方不明 1万4608人

避難者数 15万1115人

建物被害 22万1137戸

**支援状況**

自衛隊派遣 約10万6360人

米軍の活動人員 2万人以上

主な義援金 約1339億円

**ライフライン・生活**

停電 約15万8000戸

断水 約24万9000戸

都市ガス停止戸数 約11万5000戸

閉鎖中の金融機関 150店舗

閉鎖中の直営郵便局 118局

**統一地方選前半戦一民主惨敗、しかし…**

4・10

**統一選「民主敗北」** (4・11A)

**東京都** 石原慎太郎氏 4選 261万5120

東国原英夫氏 169万0669

渡辺 美樹氏 101万3132

小池 晃氏 62万3913…

(投票率 57.80%)

**神奈川県** 黒岩 祐治氏当選 172万8862

露木 順一氏 82万1981

鴨居 洋子氏 46万6223…

(投票率 45.24%)

## その他 10 道県知事選

### 41 道府県議選 (総定数 2330—浦和市選挙区 2 は投票なし)

自民 1119 (前回 1140)

民主 346 (同 335)

公明 171 (同 173)

共産 80 (同 94)

みんな 41 (—)

社民 30 (同 44)

### 15 指定市議選 (定数 924)

自民 22 (改選前 262) / 公明 157 (同 161) / 民主 147 (同 165) / 共産  
99 (同 115) / みんな 40 (同 4) / 社民 7 (同 10) .. (4・11T夕)

4・11

## 各紙社説

A 「息長く支えてゆく—被災地 1 ヶ月」 / 「コンクリ防災の限界」

M 「統一選前半選—危機の中で沈んだ民主」 / 「政治の 1 ヶ月—責任感が  
なお乏しい」

Y 「地方選前半戦—指導力不足の民主に強い逆風」 / 「プロ野球開幕—苦  
境のときこそ最高のプレーを」

N 「『複合危機』に即応した経済政策運営を」

T 「統一選前半戦—政権党の存在感どこへ」 / 「石原氏再選—首都の将来像  
どう描く」

サ 「民主党敗北—菅首相不信任は明白だ、国難克服に政権を託せない」

H 「東日本大震災 1 ヶ月—生活と地域の再建最優先して」

→4・11A 「民主、窮地の震災国会—統一選敗北、自民攻勢強める」 / M

「統一選前半、石原氏が都知事 4 選—首長選、民主 1 勝 4 敗—神奈川知  
事は黒岩氏」 / Y 「震災選挙『敗北』、41 道府県議選—自民 40 議会で第

1 党一岡田幹事長、辞任否定一首長新党、大阪府議会で過半数／愛知、『河村流』は失速」／N「統一地方選、民主惨敗一菅政権に打撃、知事選一民自対決で全敗」／M夕「民主執行部の責任追及一統一地方選敗北、首相求心力さらに低下」

## 「計画的避難区域」一被災者を翻弄する

4・11 被災状況一 (4・12Aほか)

死亡 1万3130人(宮城8017、岩手3825、福島1226··)

行方不明 1万3718人(宮城6387、岩手4091、福島3236··)

避難 14万5565人(宮城5万2498、岩手4万5319、福島2万4809··)

- 計画的避難区域の指定一政府、第1原発から半径20キロ圏外で放射線量が年間20ミリシーベルトに達する恐れのある福島県内5市町村の全部又は1部を対象(4・12各紙朝刊)一準備1ヵ月程度かけて避難させる
- 福島・茨城に震度6弱(M7.0)一東京23区が震度4  
→4・11~4・12未明にかけ震度4~1の地震約30回(A)
- 政府「東日本大震災復興構想会議」を新設一議長に五百旗頭・防衛大校長、議長代理に安藤忠雄氏、各界識者、被災地3知事ら12人を起用、会議の下に研究者、財界、労働界などから19人の検討部会(4・12A)
- 地震調査委員会(政府)、地震予測見直し方針一東日本震災「予測外」として、将来どんな地震が起きるのかの予測を見直す方針／安部勝征東大名誉教授(委員長)、「世界でM9が起きても、日本では起きないと考えてきた。楽観的なパラダイムに縛られていた点は大きな反省だ」(4・12A)
- 第1次補正予算案一与野党協議一自民・民主に対し、子ども手当など看板政策の撤回を要求(4・12A)

●日本政府、海外支援に感謝するメッセージを広告（4・12A）

4・12

各紙社説

A 「統一地方選一敗北民主は後がない」「大阪都市構想より明確に」

M 「震災後復興への道一子孫に誇れる青写真を」

Y 「復興構想会議一希望が持てる将来像を示せ」「東北農業復興一豊かな食の大地を取り戻そう」

N 「大胆かつ地域に目配りした復興計画を」「民主への失望映した地方選」

T 「復興構想会議一課題はいま目の前に」／「避難指示拡大一住民の納得が不可欠だ」

サ 「民主党惨敗一国民による審判直視せよ」／「復興会議設置一本当に機能するか疑問だ」

H 「原発『安全対策』一電力会社任せ出見直せるのか」

→4・12 Y 「20 キロ圏外にも避難区域一福島第1 原発事故、飯舘など5 市町村一積算線量を基準に」「福島・茨城震度6 弱一福島第1 原発、注水50 分中断」「『直下型』続く恐れ、福島、茨城震度6 弱一M7 級『年単位で警戒を』」「避難拡大見切り発車、福島原発事故一政府、住民数把握せず一自治体「1 ヶ月で開始は困難一年20 ミリ・シーベルト超える地域一距離だけの基準、不十分」「『なぜ今』住民落胆、対象区域拡大一畜産家『どうしたら』、専門家『避難手段国が用意を』」「避難所に再び悲鳴一福島・茨城6 弱『いつ終わるのか』」／N 「景気下振れ、東海・九州も一日銀報告、震災語7 地域で判断修正一車産業、影響大きく」「『行く先は』『補償は』一避難区指定の飯舘村など、突然の決定に困惑一具体的地域の説明なく、市職員『振り回されっぱなし』」／T 「午後2 時46 分祈り深く一『娘を1 ヶ月も見つけて挙げられなくて』」「またか余震もう嫌だ一震度6 弱、裏山崩れ死傷者、断水・停電一福島・茨城」一『地震空白地』でM7一震源は余震域の西端、大震災時に活発化」「危険なのか、ど

っちなんだー『計画避難』戸惑う住民」／サ「民主『都市最強』覆るー  
首都圏軒並み大敗・・ショック、『次期衆院選は壊滅的事態に』ー中央出  
身知事6割占める」「原発事故に『便乗』資金パーティ民主・小泉議員、  
無料の議員会館で」「危機管理、トップを試す、東日本大震災ー東芝、  
原発に250人派遣／ローソン5分後に対策本部」／A「鎮魂の日、余震  
襲うー『ドーン』山が崩れたーいわき、揺れ動く中、救出活動」

4・12 被害状況 (警察庁まとめ4・13Y)

死者 1万3232人

行方不明 1万4554人

避難者 14万1343人

避難所 2336

4・12 個人事業主団交権認める最高裁判決ー最高裁第三小法廷 (那須弘平裁判  
長)、住宅設備会社「INAX」(現リクシル)子会社「INAXメンテナ  
ンス」(愛知県常滑市)と業務委託契約を結ぶ個人事業主について(労組  
団交拒否を不当労働行為と認定ー中労委命令取消訴訟ー1審勝訴、控訴審  
逆転敗訴)、破棄し1審勝訴判決確定／新国立劇場のオペラ公演に出演す  
る1年ごとの契約を結ぶ合唱員で更新拒否の不当労働行為が争点でー原判  
決破棄し差し戻し(4・13A)→4・16A(社)「INAX判決ー実態にあわせ  
団交権を」→4・18H(主)「団体交渉権訴訟ー『偽装雇用』で団結止めら  
れぬ」

## 『レベル7』へ引上げー放射能恐怖を極限まで

4・12 「最悪レベル7」引上げー経済産業省原子力安全・保安院と原子力安全委員  
会、福島第1原発事故の事故評価尺度(INES)をレベル7に引き上げ  
るー1986年旧ソ連のチェルノブイリ原発事故に匹敵(4・12A夕)

4・12 前田恒彦元検事に対し懲役1年6ヵ月の実刑判決ー大阪地裁(中川博之裁

判長)、証拠隠滅事件(フロッピーディスクの改ざん)(4・12A夕)

→4・12Y夕「福島原発事故『レベル7』チェルノブイリ級『最悪』—放射能、63万テラ・ベクレル放出—「深刻な事故」生活への影響も考慮」「『死活問題だ』福島悲鳴、事故評価『レベル7』—観光業界あきらめ、『収束願うしかない』」

4・13

#### 各紙社説

A「原発事故評価—『7』の重みを直視する」／「特捜検事実刑—信頼回復の道なかば」

M「レベル7—『最悪』の更新を防げ」／「計画的避難—安心できる場とケアを」

Y「福島原発事故—深刻度『7』でも冷静な対応を」／「証拠改ざん検事—厳しい判決を改革への教訓に」

N「原発の『最悪』事故踏まえ情報開示強めよ」／「元検事の犯罪が迫る検察改革」

T「最悪レベル7—収束へ沈着背水の陣で」／「子供の臓器移植—透明化と検証の徹底を」

サ「福島レベル7—『最悪』評価はおかしい—チェルノブイリとは全く違う」

H「プロ野球開幕—特別の思い込めたシーズン」

→4・13A「放出長期化を重大視、評価見直し後手に—福島第1『最悪』レベル7—元作業員『遅すぎた』」／M「レベル7、事前に認識、安全委員先月時点—判断遅れ批判、保安院反論『データ待った』」「『情報遅れ』疑念の目—世界各国が速報、『自国に影響ない』強調目立ち」「最悪評価世界に衝撃、福島原発レベル7—『同列』に戸惑いも—依然、大量放出の恐れ」／Y「大量放出を重大視、福島原発『レベル7』—放射性物質、今も毎時1テラ・ベクレル—当初『過小評価』混乱避ける狙いか」／T

「封じ込めめど立たず、福島・レベル7—東電「チェルノブイリ超えも」  
—海への漏出含まず」「政府『7』認定に1ヵ月—見通し甘く不安増幅、  
『説明責任果たしてない』」／A「宿泊キャンセル56万人—全国で観光  
客軒並み激減—浅草も通りまばら『外国人すっかり消えた』」「放射能振  
り回され続け—『検査を』避難所が入所拒否—レベル7、帰郷の道遠の  
く」

## 政府首脳「20年住めない」発言—本音漂白では

4・13 東電清水正孝社長、賠償金仮払い方針表明(記者会見) (4・14A)

→4・14A「原発賠償見えぬ範囲—JCO事故から考える、沈む地域経済  
—客失い、田畑荒廃—線引き困難、長期化必至」「負の連鎖景気に寒風、  
月例報告—震災で下方修正—部品足らず生産停滞、自粛で消費低迷—原  
発、電力、回復のカギ」「小沢氏『倒閣』再び—『無責任更に災禍招く  
—危機管理の甘さに矛先、野党と連携多難』」「首相『原発周囲10年、20  
年は住めない』—本人は発言否定」／M「半数『生計めど立たぬ』避難  
者100人調査—落ち着き先『ある』32%、「自宅再建『難しい』56%」「『こ  
れから』描けない—電気、水なし—栄養不足も、避難所で格差」／Y「資  
材高値復興の足かせ—工場被災、生産大幅減—需要増で品薄深刻」／M  
タ「『20年済めない』発言、批判続出」

→4・13Aタ「『チェルノブイリと違う』—IAEA、事故構造や規模」

—IAEAフローリー事務次長(4・12記者会見)「フクシマ『除染まで  
最長100年』—英科学誌で専門家」—4・11英誌「ネイチャー」で

→4・13Yタ「東芝、日立と共同で廃炉案—福島第1原発、4基並行作業」

4・14 各紙社説

A「子供の臓器移植—透明さが信頼を築く」／「プロ野球の春—不屈の戦  
いを楽しもう」

M「菅首相への批判—ただ『辞めろ』は無責任だ」／「元主任検事実刑—  
検察全体で受け止めよ」

Y「景気判断後退—何より復興策を急ぐことだ」／「子供の臓器提供—国  
内で移植を完結する」

N「大震災1ヵ月—製造業の競争力保つ手を次々に打とう」

T「被災自治体—広域行政を復興の力に」／「特捜検事実刑—信頼への道  
まだ険しい」

H「大震災と日本経済—生活再建を最優先してこそ」

## 復興構想会議—単なるアドバルーンに終わるのか

4・14 被災状況 (警察庁まとめ4・15Y)

死者 1万3498人

行方不明 1万4734人

避難者 13万9115人

避難所 2333

●「東日本大震災復興構想会議」初会合(首相の私的諮問機関、首相官邸)  
／首相「戦後65年で最も大きな危機を乗り越え、どのように日本を再生  
させていくか、これからのスタートになる。元に戻す復旧ではなく、創造  
的な復興(策)を是非示してほしい」／五百旗頭議長「党派を超え、いかな  
る勢力にもくみしない自立性の高い会議にしたい。首相の了解も得た」「亡  
くなった多くの犠牲者の弔い合戦として、これからの日本を再興する思い  
を共有する会議でありたい」(4・15Y、M) →6・末メドに第1次提言

4・15 各紙社説

A「原発被災者—その身にたった対策を」／「震災補正予算—公約を見直  
す時だ」

M「震災後地震国の原発—政策の大転換を図れ」



Y 「原発事故賠償一国と東電が分担して救済を」／フクシマ危機一国際社会の懸念を解消せよ」

N 「復興補正の財源『バラマキ』もっと削れ」／「臓器移植を根づかせるには」

T 「仮設住宅一建設のピッチを上げて」／「闇サイト一死刑回避の理由とは」

H 「T P P 参加一復興のためにも断念すべきだ」

→4・15A 「『原発は危険』指摘してきた、各地の訴訟原告たちの主張一『安全』判決に改めて疑義」「東電賠償求め仮処分申請一双葉町の男性『仮払いを』、司法救済求める動き加速も」「菅政権軽い言葉一『原発周囲10年、20年住めない』首相発言と説明一3時間で撤回『首相はそこは言っていない』、地元『適当なこと言うな』」／M 「原発除外に異論噴出、復興構想会議初会合一首相思惑とずれ、政権運営への疑念も」／Y 「訪日外国人73%減、3月一震災後、落ち込み最大」／N 「農業被害8500億円超、被災5県本社調べ一コメ、宮城の水12%浸水／野菜、出荷制限で廃棄処分一『原発』長期化で拡大も」／H 「原発政策転換せよ、共産党が各地で奮闘一2011地方選後半戦」

4・15 東電、原発賠償「仮払い月内開始」決定一30キロ圏、1世帯100万円、単身者75万円（4・15A夕）

●JA福島会長、東電社長に抗議（4・16H）

●与謝野経財相、原発推進「間違っていない」（記者会見）「今後も日本経済にとって、電力供給にとって、原子力発電は大事だ。（原発を）推進してきたことは、決して間違いでない」（与謝野氏は日本原子力発電出身）「言い訳がましいことは言いたくないが、最良の知見、最善の知識、最良の技術でベストなものをその当時は作ったと確信していた」「原発を推進してきた立場として今回の事故に謝罪するつもりは」との問いに

「ないです」(4・15A夕)

●参院本会議、外国支援に感謝決議(全会一致) (4・16A)

4・16 被災状況 (4・17 各紙朝刊、警察庁まとめ)

死亡 1万3705人

行方不明 1万4175人

避難 13万7027人

●セシウム最高値、原発沖34キロー福島第1原発から東へ約34キロ沖合  
いでセシウム137が基準値の約2倍に相当する186ベクレル、ヨウ素131  
が基準の約4倍の161ベクレルを検出(文科省発表)ーセシウムの基準超  
えは初めて/2号機取水口付近、放射性物質の濃度が再上昇(東電発表)  
ー4・14採取の海水からヨウ素131が基準の1100倍→4・15に6500倍、  
セシウム137が370倍から1400倍に(4・17A)

4・15 G20、共同声明(ワシントン)ー主要20カ国・地域財務相・中央銀行総裁会  
議

<共同声明骨子> (4・17A)

○悲劇的な出来事の後で日本人々と連帯意識を持ち、必要とされるいかな  
る協力も提供される用意がある。日本の経済と金融セクターの回復力  
への信認を表明

○世界経済は自律的に回復しつつあるが、中東・北アフリカ諸国と日本で  
の出来事は、不確実性とエネルギー価格の緊張を増加させた。(以下、  
略)

4・15 ドイツ、原発の早期廃止を合意ードイツ・メルケル首相、国内16州首相  
と会談、国内17基原発の早期廃止で合意(4・17T・H)

4・16 各紙社説

A「震災と東京ー一極集中で、よいか」/「INAX判決ー実態にあわせ  
団交権を」

M「震災後『低エネ』社会ー日本モデルは可能だ」

- Y 「原発『計画避難』—今後の見通し丁寧に説明せよ」／「がれき処分—自治体の広域連携で乗り切れ」
- N 「観光復興に向け外国人の声を生かそう」／「元高を迫る中国のインフレ」
- T 「原発災害賠償—救済へ腰が重すぎる」／「節電対策—生活様式を省みる時だ」
- サ 「まず『増税ありき』は疑問」／「支援感謝決議—思いをしっかりと伝えたい」
- H 「いっせい地方選後半戦へ—防災と福祉の願いを共産党に」

## 復興財源＝増税論と非常事態立法論と

- 4・16A 「復興財源、消費増税が軸—首相意向、数年に限定」 「原発大半、安全策に難点、本社全国調査—非常電源・海水ポンプ」 「消せるか被災者の不安—東電賠償仮払い『厳格さより早さ』—避難住宅、「全容示して」—農業者『早く賠償・補償を』—巨費負担、東電の姿は—飛び交う『将来像』、責任の所在が焦点」／Y 「震災復興基金を新設、政府、時期措置検討—一般会計と分離、用途明確化」 「被災地、医師ら1万5000人応援—1ヵ月間、医療支援長期化も」 「東電、見えぬ本格賠償、福島原発事故—仮払金、出荷制限は対象外」／T 「見えぬ総額、東電の避難者賠償—『4兆円』の見方も、厳しい資金調達—経産省、『補償できるだけ早く』 「将来どう補償—対象者、避難いつまで仕事もなく／対象外—風評、なぜ—一時金出ない」 「都内の中小企業—93%『震災影響あり』」／H 「東電役員が自民側に献金—ランク付け計1703万円」（07～09の間）

### 4・17 各紙社説

- A 「震災と社会保障—支え合いを考える好機に」
- M 「震災後津波の教訓—『逃げる』ために備えたい」



業、大切だけど・・・』－体育館へ自主的引越しも」「外国客減、嘆く観光地  
－浅草、登別ガラガラ」／N「G20、協調なお手探り－日本問題、不確実  
性に言及」「中東政変で統制緩む－武器流出、新たな脅威－先進国が供給・  
テロ組織に渡る恐れ」／T「ドイツ、原発早期全廃へ－延命見直し、福島  
事故で首相方針」「欧州に脱原発の機運」「原発学者の評価、分かれる－言  
論の多様性確保が重要」／サ「現憲法の『欠陥』－非常事態規定なく、危  
機対応に障害」